

令和8年3月16日

## 国立大学法人北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教育関係共同利用拠点水圏ステーション特任助教公募について

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター（以下、「センター」という）におきましては、下記の要領により、文部科学省教育関係共同利用拠点「食糧基地，北海道の水圏環境を学ぶ体験型教育共同利用拠点―特色ある水圏生態系の理解に基づく産業グローバルな視野の醸成―」（付記1参照）に関わる教員を公募することになりましたので、お知らせいたします。

### 記

1. 募集人員：1名
2. 所属・分野等：（付記2参照）  
担当ステーション：水圏ステーション  
教育研究部：水圏研究領域
3. 勤務地： 忍路臨海実験所 〒048-2561 北海道小樽市忍路町1-460  
又は  
忍路臨海実験所札幌研究室 〒060-0809 北海道札幌市北区北9条西9丁目  
北海道大学北方生物圏フィールド科学センター別棟
4. 職名：特任助教
5. 職務内容：（雇い入れ直後）文部科学省教育関係共同利用拠点「食糧基地，北海道の水圏環境を学ぶ体験型教育共同利用拠点―特色ある水圏生態系の理解に基づく産業グローバルな視野の醸成―」に関する教育・研究業務  
（変更の範囲） 変更なし
6. 応募資格・条件
  - （1）採用時において博士の学位を有する方
  - （2）藻場を構成する大型海藻を対象にした生物学や水産学、または藻場の環境学に関連する分野において優れた業績、教育・研究能力を有する方
  - （3）学内外の学生・大学院生等を対象とした臨海実習や外来利用学生の受け入れな

ど、教育関係共同利用拠点にかかる業務に関して、忍路臨海実験所、臼尻水産実験所、七飯淡水実験所の設備機器・機材等を積極的に活用して、その企画・遂行に責任を持って取り組める方

(4) 忍路臨海実験所、臼尻水産実験所、七飯淡水実験所およびその他の水圏ステーションの地方施設やセンターの野外研究施設等の管理に意欲と責任感をもって参加しよう方

(5) 地方施設における勤務、研究、社会教育を含む地域との諸関係などについて対応できる方

(6) 当教育関係共同利用拠点が行う活動の情報発信および情報管理ができる方

(7) 日本語および英語で教育が行える方

7. **任期**：令和8年6月1日以降できるだけ早い時期～令和9年3月31日迄

8. **更新の有無**：更新する場合があります。ただし、1年度ごとの更新とする。

業績等により、令和12年3月31日迄の期間において、単年度単位で契約の更新を行うことがある。

9. **試用期間**：採用の日から1ヶ月間

10. **給与**：(1) 年俸制（基本年俸：5,040,000円～7,920,000円（月額420,000円～660,000円程度）、経験、能力等を勘案し、本学規定に基づき支給

(2) 諸手当：通勤手当、超過勤務手当、休日給等、本学規定に基づき支給

11. **勤務態様**：同意に基づく専門業務型裁量労働制（※）または固定労働時間制を適用（※1日に7時間45分労働したものとみなす）

12. **健康保険等**：文部科学省共済組合加入、厚生年金、労災保険、雇用保険を適用

13. **募集者の名称**：国立大学法人北海道大学

14. **受動喫煙防止措置の状況**：特定屋外喫煙場所を除き、敷地内禁煙

15. **応募書類**：

(1) 履歴書 1通（顔写真付き、6ヶ月以内に撮影されたもの）

※2013年4月1日以降、北海道大学に在職経験（非常勤講師、TA、TF、RA、短期支援員などすべての職種を含む）のある方は、当該職歴を漏れなく記載してください。

(2) 研究業績目録 1部 (付記3参照)

学術論文(査読有)、学位論文、著書、総説、その他(査読なし)に分けて記載してください。また、国際的・全国的シンポジウムのオーガナイザー、招待講演、各種受賞、競争的研究費や受託研究費の獲得状況なども記載してください。教育業績には、講義・実習の担当やその他の大学内外における教育活動の参考となる事項を記載してください。

(3) 主要論文5編以内の別刷またはコピー

(4) これまでの教育・研究、社会貢献の実績(2,000字以内) 1部

上記主要論文等の実績を含めて具体的に記述してください。

(5) 応募にあたっての抱負など(2,000字以内) 1部

採用後における教育・研究の展開に関する抱負、特に教育関係共同利用拠点の運営に関する抱負などを記述してください。

(6) 応募者について照会できる2名の氏名と連絡先E-mail

(ただし、応募者は照会者に連絡を取る必要はありません)

**16. 選考方法：**

書類選考を中心としますが、必要に応じて面接を行うこともあります。ただし、面接に際して交通費は支給しませんので、あらかじめご了承ください。状況により、面接はインターネットを通じて実施する場合があります。

**17. 応募期限：** 令和8年4月30日(木) 必着

**18. 応募書類の提出先：**

〒060-0811 札幌市北区北11条西10丁目

北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター係長(総務担当)宛

※「水圏ステーション特任助教公募」と朱書きし、書留で郵送してください。

※ 応募書類は原則として返却しません。

※ 電子メールの添付ファイルによる応募も可能です。その際は応募書類をPDFファイルにまとめてください。送付する電子メールの件名は「水圏ステーション特任助教公募」としてください。

提出先のメールアドレスはsyomu AT fsc.hokudai.ac.jp です(ATを@に置き換えてください)。

※ 応募書類に含まれる個人情報は、選考目的以外には使用いたしません。

**19. 問い合わせ先：**

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター水圏ステーション・忍路臨海実験所・

四ツ倉 典滋 (yotsukur AT fsc.hokudai.ac.jp; ATを@に置き換えてください)

### 【参考事項】

北海道大学では、多様な人材による教育・研究活動の積極的な推進に努めております。また、教育・研究活動と生活の両立支援、能力発揮・活躍環境整備も積極的に進めています。取り組みの詳細は、以下のウェブサイトを参照してください。

<https://diversity.synfoster.hokudai.ac.jp/statement/>

### 【付記】

1) 水圏ステーション忍路臨海実験所、白尻水産実験所、七飯淡水実験所は、文部科学省教育関係共同利用拠点「食糧基地，北海道の水圏環境を学ぶ体験型教育共同利用拠点—特色ある水圏生態系の理解に基づく産業グローバルな視野の醸成—」に認定されています。詳細については、(<https://www.fsc.hokudai.ac.jp/suisan-kyoten/wordpress/>) をご参照ください。

2) 「センター」は、研究林・牧場・農場・植物園・臨海実験所などの施設を統合して設立された学内共同施設（研究施設）です。教員は、森林圏ステーション・耕地圏ステーション・水圏ステーション（本公募のステーション）のいずれかに所属し、各施設およびセンターの管理運営にあたるとともに森林圏研究領域・耕地圏研究領域・水圏研究領域・統合研究領域からなる教育研究部（領域）に所属して、教育・研究を行っています。「センター」の詳細については、ホームページ (<https://www.fsc.hokudai.ac.jp/>) を参照してください。現在、水圏ステーションは、教授5名・准教授5名・助教5名で構成されています（特任教員含む）。

3) 業績目録の様式は下記よりダウンロードしてお使いください。

<https://www.fsc.hokudai.ac.jp/recruit/>

ただし、必要な情報がすべて入っていれば、他の書式でも構いません。